

総合的な防衛体制の強化に資する取組について (研究開発)

基本的な考え方

- 令和8年度に向けたマッチングについては、昨年度までの取組を着実に継続し、国研等の研究開発事業の更なる掘り起こしと、委託事業を対象としたマッチングを通じて総合的な防衛体制の強化を図る。

今後の進め方

- 令和5年8月の関係閣僚会議で確認した「重要技術課題」について、今般、防衛省のニーズや関係府省における研究開発の趨勢等を踏まえて改訂（次ページ）。
- これまでのマッチング事業の方向性も踏まえつつ、今般の重要技術課題の改訂（案）に基づき、国研等の研究開発事業や委託事業を洗い出した上で、防衛省と関係府省との意見交換を実施。
- 予算編成過程においてマッチング事業の具体化を推進し、本年末に認定。
- これまでにマッチングした関係府省の事業に関しては、その研究成果等について防衛省とコミュニケーションを行い、防衛省での研究開発への活用を積極的に検討していく。

重要技術課題の改訂（案）について

令和5年8月の関係閣僚会議で確認した重要技術課題について、防衛省のニーズや関係府省における研究開発の^{すう}趨勢等を踏まえ、「重要技術課題」を下記のとおり改訂。

エネルギー	新たなエネルギー源、高性能なエネルギー貯蔵、高出力エネルギーの投射 等
センシング	高精度な測位・航法・測時手法の確立、人、もの、環境等を高精度にセンシング、従来よりも高性能なセンシング（量子センシング、バイオセンシング等） 等
コンピューティング	高速・高効率な新原理コンピューティング（量子、光、脳型等）、膨大なデータの高効率な演算処理 等
情報処理	高精度な将来の予測、高度な人工知能、認知能力の向上・強化 等
情報通信	高速・大容量の通信、高性能な情報通信デバイス技術の確立（宇宙等で利用可能な通信デバイス等）、安全性の高いセキュアな通信 等
情報セキュリティ	効率的・常時継続的なサイバー攻撃の検知・防御・対処、サイバーレジリエンスの強化、高度な暗号（量子暗号、高機能暗号等） 等
マテリアル	新材料・素材の創製、高度な製造・加工・ 設計 手法の確立 等
無人化・自律化	機械の無人化・自律化・ 省人化 、高度なヒューマン・マシン・インターフェース、多種・有人機・無人機間の群制御・分散制御 等
機械	高機能・高性能な機械構造、極超音速飛しょう技術の確立、長時間・長距離航行 等
バイオ・メディカル	外傷医療の能力向上・強化、素材・材料の創製、有害物質・汚染物質対処能力の高度化、生体情報・試料の解析・評価技術の確立 等

※ 重要技術課題の一部抜粋。変更箇所は太字下線部。